

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーを識り、
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム
2560地区ガバナー 田中 政春
高田ロータリー会長 本山 秀樹
幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

第43回例会 ■ 5月26日(金)

No.42

会長挨拶 ● 本山 秀樹



先週の土曜日は、新潟北ロータリークラブの40周年記念式典が開催され出席しました。懇親会では、新潟柳都振興の芸姑通称「柳都さん」が勢揃いし華やかな踊りを披露していただきました。ちなみに、「柳都さん」の初任給は18歳で20万円だそうです。高田クラブでは、来週29日に新旧理事役員、委員長の引き継ぎ会があります。さて、第一生命保険「サラリーマン川柳」コンクールの上位作品の発表が有りました。1位に輝いたのは、「ゆとりでしょ？ そう言うあなたは バブルでしょ？」でした。お手元にお配りした30作品のベスト10の中に今年ヒットしたアニメ映画「君の名は。」にちなんだ「久しぶり！聞くに聞けない 君の名は」など3句が入り、流行にかけたものが多かったようです。また、今年の特徴として20代、30代の若い人たちの投稿数が多く世相を反映したのが多いようです。ちなみに、私が選んだ作品は24位の「備忘録 書いたノートの 場所忘れ」です。最近物忘れが徐々に進んでいるようです。気を付けたいものです。

出席報告

出席率 96.30%

メイクアップ

大島精次君・本山秀樹君・中田 正君（5/20

新潟北創立40周年）

高坂光一君・飯塚宏佳君（5/21 第4回RA地区行事）

本山秀樹君・中田 正君・橋詰敏一君（5/27 第7分区会長幹事引継会）

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

大島 誠君——5月16日 イオンアコーレの2Fに市内3店舗目のカーブスを出店いたしました。女性専用のフィットネスクラブです。奥様にご紹介ください。

田中正人君——昨日、県ホテル旅館組合創立60周年式典において、県知事賞の表彰を受けました。皆様のおかげと感謝申し上げます。橋詰敏一君

田中次期幹事——2017-18年度委員会事業計画提出のお願い（6月10日〆切）

幹事報告

配布物：週報No.42

回覧物：新会員推薦カード（境原三津夫氏・飛田剛一氏）

報告：5/29新旧役員理事・委員長引継会における引継事項について

高橋 正彦 君



アンコール遺跡は、9世紀初めから15世紀前半にかけて栄えたクメール王国のアンコール王朝が残した遺跡です。

遺跡は、数十キロに及ぶ範囲に点在して、現在主要な遺跡だけでも、62箇所におよんでいます。位置的には現在のカンボジア王国のシェムリアップ市周辺です。

アンコール王朝は、多数の小国に分裂していた国を802年にジャヤヴァルマン2世が「クメール諸王の中の王」を宣言し、アンコール王朝を開いたといわれています。アンコール王朝最盛期には、現在のカンボジア・タイ・ラオス・南部ベトナムにいたる広大な領域を治めていたが、1431年にシャム国（現在のタイ）との戦いに敗れ、また王位継承争いによる王室内の分裂、地方の離反などにより没落したといわれています。

没落後、1860年にフランス人の探検家アンリ・ムオーによって再発見されるまでは、密林の中に埋もれていたといわれているが、1586年にポルトガル人が参拝したと残されています。また、1632年に日本人の森本右近太夫が参拝した時の落書きが残されています。しかし日本では、現在のカンボジアではなく、インドにあったと思込んでいたようです。

アンリ・ムオーが発見したのち1900年にフランスの統治下で遺跡の整備、修復と研究が行われたが1979年に内戦が勃発。遺跡の保護は中断され、多くの仏像が破壊され敷石にされたといわれています。また、従事していた約40人の研修者・技術者はほとんどが殺され、残ったのは3人だけだったといわれている。そして、1992年にユネスコの「世界文化遺産」に登録されさらに、危機にさらされている世界遺産リストにも登録されました。

現在、日本・フランス・アメリカ・中国など世界各国から救済チームが参加して修復・人材育成活動を行っています。

アンコール・ワットのアンコールとはクメール語で王城、ワットは寺院を意味し、スールヤヴァルマン2世によって1113年から約30年かけて建設されたヒンズー教寺院です。また、カンボジアの国旗にも描かれています。

アンコール・トムは、12世紀後半から13世紀にかけて、ジャヤヴァルマン7世によって3km四方で

「大きな都城」を意味する巨大な都市を築き、この時代がアンコール王朝最盛期であり、都城内中心にバイヨンと言う仏教寺院が建てられています。

バイヨンの特徴は54の塔に四面仏尊顔の観世観音菩薩が刻まれていて、この四面像は正確に東西南北の方位にむいており、世界に慈愛を広めようとする大乘仏教の信仰を反映しています。都城内には、王宮・像のテラス・パパー・オンなど多くの寺院の遺跡があります。

バンテアイ・スレイは、967年にジャヤヴァルマン5世によって建てられた女の砦という意味のヒンズー教寺院です。

プリア・コーは、879年にジャヤヴァルマン2世と先祖を祀る為建てられたヒンズー教寺院で最古の寺院といわれています。

タ・プロムは、1186年から12世紀末にジャヤヴァルマン7世により母の冥福を祈るため建てられた仏教寺院であり、のちにヒンズー教寺院に変わり、仏教関係の仏像や彫り物が破壊されました。現在建物の修復を行っていますが、スプアン（ガジュマルの一種）の大樹に遺跡が包み込まれるように崩壊が進んでいます。

まだ、多くの遺跡があるといわれていますが、ジャングルの中には内戦の爪痕の地雷があるため調査が進んでいません。

次にミーソン遺跡ですが、現在のベトナム中部のクナム省ミーソンに、6世紀から13世紀頃まで栄えたチャンパ王国の遺跡で、1999年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。近くにはホイアン・フエの世界遺産がある地域です。

チャンパ王国はチャム族が築いた王朝といわれています。かつてアジア最強を誇っていたアンコール王朝に攻め入ったこともあるほどです。

ミーソン遺跡は当時のヒンズー教寺院の遺跡群で、ミーソン聖域とも呼ばれています。チャンパ王国が減んだ後、20世紀初頭にフランス人によって発見され、フランスにより修復・補強がなされたが、盗掘を受け美術品の多くが失われました。また、ベトナム戦争でアメリカの爆撃を受け大半の遺跡が破壊され、現在、日本など多くの国の援助を受け調査・発掘・修復が行われていますが、チャム族の研究者が少なくいまだ解読されない碑文・書簡も多くあるといわれています。

